

令和6年度事業計画

当社は、つくば発の革新的な先端技術を活用し、産学官の密接な交流や連携のもとに、次世代の新たなビジネスを生み出すベンチャー企業や事業革新を進める企業の創出と成長を支援することによって、地域経済の発展と社会課題の解決に貢献することを目指しております。

令和6年度は、「地域の新事業創出・育成を担うイノベーションハブへの成長を目指して」をテーマに3か年の第5次中期経営計画を策定し、「新たな事業機会の探索」「ベンチャー企業などに対する支援能力の強化」「快適な施設環境の提供と施設供給強化の取組」の3つの柱と、その実現のための土台づくりを、基本方針に掲げることとしました。

中期計画初年度は、スタートアップ対応やオープンイノベーションの取組が当社周辺でも進展していることを踏まえ、外部支援機関のほか、こうした取組を進めている企業や団体・行政等との連携事業を一層強化してまいります。具体的には、他地域・他機関と連携した技術発表イベント等の支援事業、国内主要展示会への出展支援、ものづくり交流会等を行い、中小企業をはじめとする県内立地企業のネットワークや専門家の力も生かしながら、マッチング機会の提供や事業成長支援に取り組んでまいります。

また、ディープテックへの関心が高まりをみせる中で、茨城県内の大学や研究機関が持つ優れた技術シーズの掘り起こしも強化してまいります。VC・CVCやアクセラレーター等の知見も活用して、当該シーズを生かしたビジネスモデルの開発や将来の事業化を目標に、掘り起こしを進めてまいります。

そして、これらの取組にあたっては、行政等が実施する委託事業をできるだけ活用して効率的に実施するとともに、自主事業のみでは得ることが難しい関係者の拡大により連携の幅を広げ、より大きな成果を目指すこととします。

次に、当社収入の85%を占める自社施設の運営については、計画的な修繕や機能・美観等のリニューアルを実施することにより、快適な環境を提供して施設価値の維持・向上につなげ、高い入居率や利用率の維持に努めてまいります。また、逼迫感の続くレンタルラボ需要への対応については、その増設等について検討を継続してまいります。一方、つくば市所有のつくばスタートアップパークの受託運営におきましても、その立地特性を踏まえ大学発ベンチャーへの支援を継続強化してまいります。

さらに、経営基盤の強化については、将来の支援高度化を担う優秀な若手人材を確保し、研究機関等のシーズ探索業務やVC等の専門支援機関と連携した現場経験を通じて、実務能力の向上を図ってまいります。また、つくば発ベンチャーへの注目度や関心を一層高めるために活動広報や成果広報を強化するとともに、安定利益の確保に向けた資金運用にも積極的に取り組んでまいります。